

埋蔵文化財収蔵庫の火災に伴う経過等報告について

平成 13 年 2 月 21 日・盛岡市教育委員会

区分	対応状況等
1. 火災の状況	<p>(1) 発生日時 平成 12 年 12 月 24 日 (日) 午前 0 時 30 分頃 (2) 消防署通報時間 " 午前 0 時 42 分 (3) 教育委員会連絡 " 午前 1 時 宿直⇒総務課長⇒教育長他 文化財係長⇒文化課長他</p> <p>(4) 鎮火時刻 " 午前 3 時 57 分 (5) 火災発生原因 不明 (平成 13 年 2 月 21 日現在 盛岡西警察署・盛岡西消防署)</p>
2. 被災状況	<p>建物は全焼し、土器等文化財資料・図面・写真と発掘調査資料及び測量機器・事務用品等が焼失又は焼損したもの。</p> <p>(1) 建物</p> <p>用途 文化財資料等保管・整理 所在 盛岡市前九年一丁目 45 番 建築年 昭和 30 年 床面積 木造二階建て 390 平方メートル * 12 月 28 日解体、30 日撤去・整地作業終了 * 当該物件は、全国市有物件災害共済に加入</p> <p>(2) 埋蔵文化財資料</p> <p>完形土器 約 200 点 (収蔵数 300 点) 破片土器、石器等 プラスチックコンテナ約 680 箱 (収蔵数 730 箱)</p> <p>(3) 発掘調査資料</p> <p>発掘現場遺構図、実測図等原図他 13,500 枚 発掘現場撮影カラースライド 170,000 コマ " ネガアルバム 480 冊 埋蔵文化財調査報告書、寄贈図書 9,000 冊</p> <p>(4) 事務用備品等</p> <p>机、椅子、戸棚類 59 点 計測機器類 9 点 写真光学機器類 16 点 車両類 2 点 諸機械類 9 点 図書類 66 点 (計 161 点)</p>
3. 関係機関等報告経過	<p>12月24日 市長に火災発生報告 (午前 7 時 50 分) 市長現場視察 (午前 9 時 30 分) 市議会副議長に報告 (議長県外滞在中) 教育福祉常任委員長に報告 共同記者会見 (午後 4 時)</p> <p>12月25日 市議会議長に報告 盛岡市庁議に報告</p> <p>12月26日 教育委員会議定例会議に報告</p> <p>12月27日 市議会教育福祉常任委員会に報告</p> <p>12月28日 岩手県教育委員会に報告 盛岡市文化財保護審議会委員に報告 (郵送) 共同記者会見 (午後 4 時)</p> <p>1月18日 盛岡市教育委員会議に報告</p> <p>2月2日 岩手県教育委員会に報告</p> <p>2月5日 文化庁に報告</p> <p>2月9日 盛岡市教育委員会議に報告</p>

区分	対応状況等																																																
4. 当面の重点対応項目	<p>①防火・防犯体制の強化・確立 ②管理責任体制の明確化と事務処理体制の再整理 ③収蔵施設総点検の実施、改善 ④調査資料等の管理方法の改善 ⑤土器等文化財収蔵方法の改善 ⑥遺物の整理分類及び修復・復元 ⑦発掘調査資料の修復・復元</p> <p style="text-align: right;">○火災に配慮 ○収蔵室の防火金庫等 入れ替え</p>																																																
5. 今後の方針	<p>①埋蔵文化財センター施設整備構想の推進 ②埋蔵文化財調査等マニュアルの整備 ③調査資料等のデータベース化（デジタル化等）及びバックアップシステムの構築 ④資料等危険分散システムの構築 土器、石器等遺物の保管と図面等発掘調査資料の区分管理 ⑤埋蔵文化財関係の施設充実について関係方面への要望</p>																																																
6. 罹災資料の整理状況	<p>(1) 存在が確認された主な出土品</p> <p>① 上田蝦夷森古墳群 1号墳出土品 土師器甕、刀子、環状錫製品 1組（1組は未発見）、琥珀 3点（以上岩手県指定文化財） ② 太田蝦夷森古墳群出土品 勾玉、銅製鎧帶金具、管玉、ガラス玉 ③ 縄文中期の完形土器、志波城跡出土墨書土器その他</p> <p>(2) 回収資料の分別整理</p> <p>① 作成図面類——乾燥、焼損部の切り取り ② ネガフィルム——クリーニング、乾燥 ③ 写真——同上 ④ 図書類——乾燥、整理</p> <p>(3) 土器等の修復</p> <p>① 完形土器の油煙等付着物除去、破片土器のクリーニング・遺跡の特定 ② 石器等出土品のクリーニング・遺跡の特定 ③ 上記作業後、破損土器等の修復予定</p>																																																
参考 埋蔵文化財発掘調査の現況	<p>(1) 発掘調査の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">本調査</th> <th colspan="2">試掘調査</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>面積 (m²)</th> <th>件数</th> <th>面積 (m²)</th> <th>件数</th> <th>面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成7年度</td> <td>38</td> <td>26,468</td> <td>55</td> <td>25,410</td> <td>93</td> <td>51,878</td> </tr> <tr> <td>平成8年度</td> <td>38</td> <td>36,613</td> <td>68</td> <td>40,464</td> <td>106</td> <td>77,077</td> </tr> <tr> <td>平成9年度</td> <td>39</td> <td>46,673</td> <td>35</td> <td>5,890</td> <td>74</td> <td>52,563</td> </tr> <tr> <td>平成10年度</td> <td>42</td> <td>54,226</td> <td>48</td> <td>9,898</td> <td>90</td> <td>64,124</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td>39</td> <td>41,738</td> <td>52</td> <td>17,723</td> <td>91</td> <td>59,461</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 出土品等遺物保管状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管数量 昭和52年度以降分 コンテナ約一万箱 ・保管場所 市内7箇所に分散保管 <ul style="list-style-type: none"> * 鉄骨コンクリートボード造 1 軽量鉄骨プレハブ 6 ・年間発生量 コンテナ約500箱 	年度	本調査		試掘調査		合計		件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	平成7年度	38	26,468	55	25,410	93	51,878	平成8年度	38	36,613	68	40,464	106	77,077	平成9年度	39	46,673	35	5,890	74	52,563	平成10年度	42	54,226	48	9,898	90	64,124	平成11年度	39	41,738	52	17,723	91	59,461
年度	本調査		試掘調査		合計																																												
	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)																																											
平成7年度	38	26,468	55	25,410	93	51,878																																											
平成8年度	38	36,613	68	40,464	106	77,077																																											
平成9年度	39	46,673	35	5,890	74	52,563																																											
平成10年度	42	54,226	48	9,898	90	64,124																																											
平成11年度	39	41,738	52	17,723	91	59,461																																											